

厚生労働科学研究費補助金

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス研究事業

全国のサリドマイド胎芽病患者の健康、生活実態に関する研究

(H23-医薬-指定-023)

平成23年度 総括・分担研究年度終了報告書

研究代表者 吉澤 篤人

平成24（2012）年 5月

目 次

I. 総括研究年度終了報告

全国のサリドマイド胎芽病患者の健康、生活実態に関する研究-----001

吉澤 篤人

資料1：平成23年度 予備調査記録

資料2：サリドマイド被害者生活実態調査

資料3：別紙1 生活実態アンケート調査のお願い・説明書

資料4：別紙2 アンケート調査ご協力の御願い(簡易版)

資料5：別紙3 「サリドマイド被害者生活実態調査ご協力の御願い

資料6：塊椎

資料7：足関節上部で血圧評価する理由

資料8：足関節上部で後脛骨動脈の圧を測定した

資料9：各種検査において注意した点

資料10：「ルアーアダプター付きセーフタッチPSVセット」を用いた採血

資料11：検査支援説明（上部消化管内視鏡、呼吸機能、眼科、脳波）

資料12：サリドマイド被害者検診における上部消化管内視鏡検査

資料13：サリドマイド胎芽病患者の人間ドック受診について(施設側の注意点)

II. 分担研究年度終了報告

1. サリドマイド胎芽病患者の血圧評価----- 050

新保 卓郎

2. サリドマイド胎芽病者の身体内部の異常に関する研究----- -054

蓮尾 金博

3. サリドマイド胎芽病患者における心理的・精神的問題に関する研究 -----056

今井 公文

(資料) Table 1～10

4. サリドマイド被害者の生活実態調査票の作成 -----073

小林 毅、

添付資料1：サリドマイド被害者生活実態調査

添付資料2：調査内容と研究協力のご確認(説明書) 案

添付資料3：協力同意書 案

095

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 なし

IV. 研究成果の刊行物・別刷 なし

厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）
総括23年度終了報告書

全国のサリドマイド胎芽病患者の健康、生活実態に関する研究

研究代表者 吉澤 篤人 国立国際医療研究センター病院 総合診療科
分担研究者 木村 壯介 同 病院長
分担研究者 森吉 百合子 同 人間ドック科
分担研究者 栢森 良二 帝京大学医学部リハビリテーション科
研究協力者 関 裕 国立国際医療研究センター病院 総合診療科
研究協力者 櫻井 俊之 消化器科
研究協力者 佐藤 朋子 看護部

研究要旨

サリドマイド胎芽病の上肢および顔面・聴覚器以外の医学的な側面や生活の実態について系統的な調査・研究がなされたことはない。今回の研究は現在、296名生存しているサリドマイド胎芽病患者を対象として内臓器の欠損および低形成の有無を調査すること目的とする。また、健康状態および生活の実態調査を行うことで適切な支援のあり方を検討することを副次的な目的とする。

A. 研究目的

被害報道から50年を経たサリドマイド胎芽病患者を身体および生活実態を調査することで医学的真実と健康状態および生活の状況を把握することができる。また、その結果に基づいて上肢障害者の血圧測定方法や聴覚障害者が上部消化管内視鏡検査を適切に受けられる方法を提言する。

薬害被害者の健康状態実態調査は厚生労働行政の課題の一つであるため本研究は厚生労働行政の課題に直接的に関連するものである。

B. 研究方法

1) 健診

平成23年度は国立国際医療研究センター病院において、約22名のサリドマイド胎芽

病者に3泊4日入院してもらい網羅的な健診を行った。健診は森吉人間ドック科科長の協力を得て、人間ドックの診療枠を用い、木村壯介病院長が総括した。対象者は今井精神科科長が計画する心理テストを行うことと、身体的状況からプライバシーには特段の配慮を要するため、通常のドック健診者が利用する個室病棟にて実施した。通常の間ドックには含まれない検査項目は吉澤総合診療科科長が主体となりオプションとして追加した。放射線医学的な診断は蓮尾放射線診療部長によって取り纏められた。各種検査には入院病棟の看護師が同行し、支援ないし介助のあり方を検討した。血圧の測定は上下肢合わせて8カ所で行い、測定部位の周囲径とともに記録した。結果の解釈は新保部長が解析した。なお、健診を

含めた研究計画は当センター倫理委員会にて承認された（受付番号1031）。

2) 健康・生活実態調査

まず、過去に財団法人いしずえが実施した健康相談を含めた個別面接の経験がある分担担研究者小林毅准教授と三菱総研担当者がアンケート調査の質問項目を立案した。質問は健康問題のみならず精神面や生活上の問題などの実態を把握することを目的としているため、財団法人いしずえの佐藤理事長から意見を聴取した。佐藤理事長からは「我々は患者ではないので患者から被害者に表題を改めてほしい」「説明書および同意書については理解を深めるために簡易版を作成して欲しい」などの意見がだされたため、反映させた。

網羅的なパイロット健診で入院した22名中8名に協力してもらい、三菱総研の担当者が直接面談し、不適切ないし不明な質問がないかどうか確認した。その結果、200項目の意見が得られたため（資料1）これに修正を加え、「サリドマイド被害者生活実態調査」（資料2）を作成した。平成24年度はこれに3種類の同意書説明書（資料3、4、5）を同封して対象者に郵送し、本調査を実施する計画である。なお、本件については同意取得の方法を含め当センター倫理委員会にて承認されている（平成24年5月18日承認）。

C、研究結果

1) 網羅的な健康診断の結果

22名を対象として当院で3泊4日の人間ドックを実施した。対象は男性9名、女性13名。年齢は47～51歳であった。主障害

は上肢障害（欠損ないし短縮）18名、聴覚障害4名であった。内臓器の評価、血圧測定方法の提言、心理的・精神的問題に関する研究については各々の分担研究者の報告に記載されているため、背景および結果概略を総括する。

健診の結果は人間ドックの結果報告書の書式に則って本人に送付した。また、撮影されたすべての画像所見はCD2組に保存して一部を本人用、もう一部は近隣の医療機関への情報提供用として役立てるようにと説明し提供した。これらの資料提供は対象者が今後受診する際の診療の質の向上に資するものである。

1-1 塊椎(block vertebrae)と先天性無胆嚢症が認められた

特異的な所見として頸椎の塊椎(資料6) (5名: 22.7%)と先天性無胆嚢症(6名: 27.2%)が認められた。塊椎(block vertebrae)とサリドマイド胎芽病との関連はこれまで指摘されたことはなく、新知見である。

塊椎(block vertebrae)は頸部の可動域制限、両上肢の筋力低下や間歇性の頭痛、頸部痛が生じるとされている。また、30歳以降に頸髄圧迫症状による神経症状が出現するとされている。入院期間中の面談で「この数年の間に体の動きが悪くなった」と訴える対象者は塊椎(block vertebrae)が原因である可能性が高いと推察した。

ここで奇形学的な観点から若干の考察を加えたい。椎骨の発生は第6週の間には始まるとされている。また、塊椎(block vertebrae)は週齢3～8週に局所的な血流障害があることが原因と考えられているが、これは上肢障害が発生しやすい胚子期(週齢3

～7週) とほぼ一致する。サリドマイド胎芽病の発生機序が血管新生の抑制であることと考えると上肢障害を有するサリドマイド胎芽病者に塊椎(block vertebrae)が合併することは不思議なことではない。事実、塊椎(block vertebrae)と診断された5名全員が上肢に障害があり、難聴者はいなかった。

以上より、塊椎(block vertebrae)が上肢形成不全のない難聴者にはなく、上肢障害者に限定しているという仮説を検証するため、頸椎の評価と胆嚢の有無は平成24～25年度に行う日帰りドックの重点項目として追加することとした。

1-2 頭部CTで耳小骨、蝸牛、半規管などの変形、形成不全を認めた

これまで、サリドマイド胎芽病の耳鼻咽喉科的な機能形態障害はCTを用いずに検討されてきたが、今回の研究により頭部CTで聴力障害者における中耳および内耳の構造異常について検討したところ耳小骨の形成不全、半規管の低形成、前庭の嚢胞性変化など多彩な異常があることが判明した。新知見である。

1-3 上肢障害者の血圧測定は後脛骨動脈でデジタル自動血圧計を用いて測定することを提言する

これまで、上肢の低形成ないし欠損者の血圧測定法は確立されていなかったため、これらの障害をもつサリドマイド胎芽病者は自らの血圧を知ることはなかった。対象者の高齢化にともなって、今後さまざま疾患が続発する可能性を考えると健康診断の

基本情報であるとともに各種の検査、診断、治療の評価となる血圧の結果を知ることは喫緊の課題であると考えた。そこで①明らかに高血圧であるという対象者を発見する血圧の測定方法を決める ②高血圧と診断された対象者が家庭血圧を測定することが可能な方法を決めることの2点を目途とした。

網羅的な健康診断の入院中に複数部位の血圧を実測した結果、8つの理由(資料7)によりデジタル自動血圧計を用いて、足関節上部で後脛骨動脈の圧を測定することが最も合理的で利便性が高いとの結論に至った。上肢に障害のあるサリドマイド胎芽病者の血圧は足関節上部で評価することを提言したい。(資料8)

なお、適切な腕帯幅については(腕)周囲の適応範囲が24mm～32mm(Mサイズ)より足関節上部の周囲径の測定結果から17～26mmを適応範囲とするSサイズの方が適切である可能性がある。下肢血圧から上肢血圧を予測する式の妥当性を含め、さらに検証する必要がある。しかし、家庭血圧測定で用いる市販されている血圧計や一般の医療機関では腕帯幅がSサイズの血圧計が用意されていないことを考慮すると、上肢障害者にはまず標準的な血圧計の購入を促し、家庭血圧を測定することを勧めることが高血圧の診断につながる次善の策であると考ええる。

1-4 採血、内視鏡検査を含めた各種検査時の看護師および医師の支援

リドマイド胎芽病者が健診を含め他の医療機関に受診予定がある場合、担当する医師および看護師等に下記の情報を提供する

ことにより各医療機関の受け入れが容易になると考える。

i) 採血

採血が困難であることが上肢欠損ないし低形成のサリドマイド胎芽病者が健康診断を含めた医療機関受診をためらう大きな理由となっている。今回の健診ではまず看護師が採血を実施したが、一部症例は採血困難であり、医師が実施した。採血時を含めた各種検査受診時の配慮事項を資料9にまとめた。採血が困難であった症例は大腿静脈から医師が行った。また、採血に適した血管がある部位の進展が困難な症例は「ルーアアダプター付きセーフタッチPSVセット」を用いて採血した(資料10)

このセットを用いて採血する際は、ルート内にある空気が1本目の採血管に吸引されるため、血算・凝固系などサンプルサイズが小さい採血管は2本目以降に採取することが必要である。

ii) 各種検査受診時の配慮事項

聴覚障害者が検査を受ける際にこれを支援するために当院看護師が資料11を作成しこれを試用した結果、検査の支援が容易となった。

iii) 上部消化管内視鏡検査

研究協力者である櫻井俊之医師が22例全員の上部消化管内視鏡を実施した。結果の概要と上部消化管内視鏡を実施する医師の想定質問についてQ&A形式の資料を作成した。(資料12)

iv) 健診・人間ドック受診時の留意点

分担研究者の森吉人間ドック科長により

受診前に医療機関側が収集しておくことが望ましい情報等についてまとめられた。

(資料13)

1-5 加療を要する疾患を発見した

パイロット健診対象者に「4週に一度の周期で高熱がでる。大学病院で調べてもらったが原因不明と言われている」と訴える48歳の女性が含まれていた。詳細に問診した結果、希少疾患である「家族性地中海熱」の可能性があると考えられた。本人の同意を得たうえで平成24年1月30日、当病院総合診療科を再受診し、本人同意を得た後、採血し京都大学大学院医学研究科発達小児科学データ・検体管理担当者に遺伝子診断を依頼中である。しかし、その結果を待たず本人が治療薬である「コルヒチン」の予防内服の開始を希望したため、平成24年6月1日に当センター総合診療科を受診する予定である。もし、診断的治療が有効であれば遺伝子診断の結果によらず臨床的に「家族性地中海熱」と診断できる。偶然の合併と考えるが、本邦での推定患者数300人で発症年齢が 19.6 ± 15.3 歳の希少疾患であるため、居住区近くの大学病院では疑われなかったものと推察する。

健康診断で便潜血が陽性であったことから大腸内視鏡にてポリペクトミーが実施され(16×7×4mm大)、Cancer in adenocarcinoma, depth m, polypectomyとの病理診断に至った症例があった。この方はその後婦人科にも当院に入院し、右卵巣嚢腫に対して右付属器切除術を施行された。術後の経過は良好であったが、上肢低形成者であったため静脈ラインを下肢に確保したため早期離床が困難であった。

網羅的健康診断に協力した以上2名の対象者が結果として享受できた利益は少ないと考える。

D. 健康危険情報

E. 研究発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

No.	設問項目			意見
1	I	問2	サリドマイド被害による主な障害	視覚、下肢障害等の場合にも選択肢で選べるほうが良い。(重複障害への対応)
2	I	問3	居住市町村	この項目は必要か一事務局より、地域差を分析したい旨補足説明。 アンケートに回答する段階で、個人が特定されることを危惧する人はいないのではないか。 1人しか被害者がいない都道府県はないと思うし、複数いるとすれば全員回答するとも限らないので特定されることはない。 市町村名を書くほうが記入負荷が低い。
3	I	問3	居住市町村	地域を特定されることには抵抗感はない。人口を調べるよりも市町村名を書くほうが記入負荷が軽い
4	I	問3	居住市町村	人口はよく分からないので、市町村名を記入するほうが負担が軽い。
5	I	問3	居住市町村	実態を知ってもらう調査なので、地域が特定されても構わないのではないか。 市政だよりで人口のことはよく取り上げられているので、特に迷わず記入できた。
6	I	問3	居住市町村	人口は把握しており、特に迷わず記入できる。しかし、市町村名を記入することにも抵抗はない。福祉施策等は市町村によって大きく異なるので、市町村名で把握したほうが良いのではないか。
7	I	問3	居住市町村	人口は把握しており、特に迷わず記入できる。しかし、市町村名を記入することにも抵抗はない。
8	I	問3	居住市町村	人口規模だけでは、医療・福祉サービスの基盤整備の状況等は評価できない。市町村名を把握するほうが良いのではないか。(特に抵抗はない)
9	I	問3	居住市町村	人口を調べるよりも市町村名を書くほうが記入負荷が軽い。
10	I	問5	同居者 続柄	内縁の夫はその他とすればよいのであれば記入できる。
11	I	問6	主な所得の種類	働いていないことを気にしている被害者がいるので、「1働いて得た所得」は表現を見直したほうが良い。
12	I	問6	主な所得の種類	年金、生活保護を受給しているかという分け方が答えやすい。
13	I	問6	主な所得の種類	勤労所得以外はないので、特に迷うことなく記入できる。
14	I	問6	主な所得の種類	所得の種類まで把握する必要があるか。記入できない人もいると思う。
15	I	問6	主な所得の種類	「働いて得た所得」という表現は分かりにくい。
16	I	問6	主な所得の種類	障害年金が見つげにくかった。
17	I	問7.8	個人、世帯全体の所得	所得について聞かれても特に抵抗感はない。
18	I	問7.8	個人、世帯全体の所得	所得について聞かれても特に抵抗感はない。
19	I	問7.8	個人、世帯全体の所得	勤労所得は分かるが、それ以外も含めた全体の所得は分からないため、記入できない。
20	I	問7.8	個人、世帯全体の所得	特に迷わず記入できる。
21	I	問7.8	個人、世帯全体の所得	個人情報であり、答えにくい。
22	I	問7.8	個人、世帯全体の所得	税込金額か、税抜き金額か判断に迷う。
23	I	問7.8	個人、世帯全体の所得	特に迷わず記入できる。
24	I	問8	世帯全体の所得	個人の所得は抵抗感はないが、世帯全体の所得を答えることには抵抗がある可能性がある。 ケースによって差が大きく、家族がない人もいるが、把握する必要があるか。
25	II	問3	健康上の問題で普段の活動ができなかった日	過去1か月を把握することでは不十分で、1年、3年、5年単位の把握が必要ではないか。
26	II	問2(1)	健康上の問題での日常生活への影響の内容	影響の内容は個人によって様々。私は特に影響がないが、重症の被害者はいろいろとあるかもしれないので、今後のヒアリングで把握してほしい。
27	II	問2(1)	健康上の問題での日常生活への影響の内容	この実態を把握することは重要。ただし、私は障害が軽いので、「その他」にこれ以外にどのような選択肢が入るかは分からない。
28	II	問2(1)	健康上の問題での日常生活への影響の内容	台所、洗面台、トイレ等が使いにくく困っているケースは多い。こうした影響が分かるような選択肢を足したほうが良いのではないか。
29	II	問2(1)	健康上の問題での日常生活への影響の内容	手の不自由な方の目線での選択肢と思う。聴覚障害の場合の影響について追加したほうが良いのではないか。(例:コミュニケーション障害)
30	II	問2(2)、問3	健康状態の把握	おおむねこの5年間、過去1か月と、期間の開きが大きい。もう少し整合を取るとともに、幅を持たせてはどうか。
31	II		健康状態について	Ⅲ問1病気がけがで具合の悪いところと重複していて、答えにくい。もう少し整理したほうが良いのではないか。
32	III	問1(1)	自覚症状	「42その他」は、具体的に記入できるよう()を入れるほうが良い。
33	III	問1(1)	最も気になる症状の番号記入欄	複数の症状がある場合、どれか一つを選ぶのは難しい。
34	III	問1(1)	最も気になる症状の番号記入欄	選択肢と一連の回答欄になっていると、選択肢に○をつけ忘れ、最も気になる症状の番号だけを記入する恐れがある。
35	III	問1(1)	自覚症状	ほとんどに○がつくのではないかと。
36	III	問1(1)	最も気になる症状の番号記入欄	最も気になる一つを選んで記入することは可能。
37	III	問1(1)	自覚症状	特に分からない選択肢はない。
38	III	問1(1)	最も気になる症状の番号記入欄	複数の症状がある場合、どれか一つを選ぶのは難しいので、3つ程度選ぶことにしてもよいのではないか。
39	III	問1(1)	自覚症状	特に分からない選択肢はない。
40	III	問1(1)	最も気になる症状の番号記入欄	複数の症状がある場合、どれか一つを選ぶのは難しいかもしれない。
41	III	問1(1)	自覚症状	特に分からない選択肢はないが、レイアウトを工夫する必要がある。ここは調査項目で、次の最も気になる症状の番号だけを記入すればよいかと思った。
42	III	問1(1)	最も気になる症状の番号記入欄	複数の症状がある場合、どれか一つを選ぶのは難しいかもしれない。
43	III	問1(1)	自覚症状	サリドマイド被害特有の症状を追加したほうが良いのではないか。
44	III	問1(1)	自覚症状	特に分からない選択肢はない。
45	III	問1(2)	自覚症状についての治療の有無	通院している場合、「1通っている(往診、訪問診療含む)」を選ぶということが分かりにくい。 あんま等については、「2通っている」となっているが、これも自宅に来てもらうケースがあるので表現を見直す必要がある。
46	III	問1(2)	自覚症状についての治療の有無	一応通院はしているが、本当にかかりたい病院にかかっているとは限らない。その実態を把握したほうが良いのではないか。
47	III	問2(1)	傷病名	「40その他」は、具体的に記入できるよう()を入れるほうが良い。

48	Ⅲ	問2(1)	傷病名	「41不明」は分かりにくい。「傷病名が分からない」等、表現を見直したほうがよい。
49	Ⅲ	問2(1)	最も気になる傷病の番号記入欄	複数の傷病がある場合、どれか一つを選ぶのは難しい。
50	Ⅲ	問2(1)	傷病名	特に分からない選択肢はない。
51	Ⅲ	問2(1)	最も気になる傷病の番号記入欄	複数の傷病がある場合、どれか一つを選ぶのは難しいので、3つ程度選ぶことにしてもよいのではないか。
52	Ⅲ	問2(1)	傷病名	特に分からない選択肢はない。
53	Ⅲ	問2(1)	最も気になる傷病の番号記入欄	複数の傷病がある場合、どれか一つを選ぶのは難しいかもしれない。
54	Ⅲ	問2(1)	傷病名	特に分からない選択肢はない。
55	Ⅲ	問2(1)	傷病名	「傷病」という表現は難しい。
56	Ⅲ	問2(1)	傷病名	「その他の〇〇の病気」については、どこに入れてよいか判断できない人もいるのではないか。(例:循環器か消化器か分からない等)
57	Ⅲ	問2(1)	傷病名	サリドマイド特有の傷病について、把握したほうが良いのではないか。
58	Ⅲ	問2(1)	傷病名	喘息、関節リウマチ、関節症、腰痛症、骨折等については、部位等を細かくとったほうが良いのではないか。皮膚炎もアトピー以外にストレス性もある
59	Ⅲ	問2(1)	傷病名	特に分からない選択肢はない。
60	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	私は、1ヶ所しか通院していないので、記入欄が煩雑。通常の設定問と同様のレイアウトのほうが答えやすい。
61	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	このままのレイアウトにするなら、記入例があったほうが良い。
62	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	各項目の選択肢について、番号と選択肢内容の間に線を引く等、切り分けが分かりやすいレイアウトにしたほうが良い。
63	Ⅲ	問2(2)	問2(2)	1ヶ所しか通院していない場合は答えやすいが、複数の場合はどうするのか。すべての通院先を合わせて記入するのであれば、その旨の注記があった方がよい。
64	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	通院先は1ヶ所だが、診療科が3つあり、それぞれ通院日や頻度が異なるしている場合、どのように記入すればよいか迷う。(行を分けるのか、合算で記入するか)
65	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	記入例があったほうが良い。
66	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	選択肢の番号が見にくいので、番号同士に細い点線を引いてはどうか。
67	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	定期的に通院している医療機関は2ヶ所である。特に診療科等の選択に迷うことはない。
68	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	定期的に通院している医療機関は1ヶ所である。特に診療科等の選択に迷うことはない。
69	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	交通費の選択肢は、もう少し刻みをまとめてもよいのではないか。
70	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	定期的に通院している医療機関は3ヶ所ある。特に迷わず記入できる。
71	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	「その医療機関にかかったきっかけ」については、地方でサリドマイド被害による障害等に対応できる医療機関がない場合、違和感がある。
72	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	記入欄は5つあれば足りる。
73	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	診療科について、内分泌科(糖尿病)、ペインクリニック、リウマチで整形外科にかかっている場合等、記入に迷うのではないかと。
74	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	19皮膚泌尿器科は20泌尿器科と重複している。
75	Ⅲ	問2(2)	定期的に通院している病院・診療所等	特に迷わず記入できる。
76	Ⅲ	問3	医療機関への受診状況	「2入院と通院が半々」は分かりにくいので、削除したほうが良い。1年に3回くらい入院する場合は、これに当たるのかどうか迷う。
77	Ⅲ	問3	医療機関への受診状況	入院は1年程度を把握したほうが良いかもしれないが、通院・往診はたくさんあるので、さかのぼるとしても半年程度が限度。
78	Ⅲ	問4	病院等を受診する上で困っていること	診査着の着脱が大変である(ひもで結ぶ等。一般の医療機関ではヘルプを頼みにくい)
79	Ⅲ	問4	病院等を受診する上で困っていること	「4上部消化管内視鏡(胃カメラ)」に困っていたが、丁寧に聞きとらないと明らかにならず。「胃カメラ等(上部消化管内視鏡)」のようになじみのある名称を先にしたほうが良いか。
80	Ⅲ	問4	病院等を受診する上で困っていること	自分は特にない。人によって異なるので、自由記述欄でよい。
81	Ⅲ	問4	病院等を受診する上で困っていること	自分は採血以外困ることはない。人によって異なるので、自由記述欄があればよいのではないか。
82	Ⅲ	問5	健診等の受診状況	NCGMの健診が含まれることはここに書いておく必要がある。(1)まで進んで初めてNCGMの健診が含まれることが分かる形では、回答漏れが起きる。
83	Ⅲ	問5	健診等の受診状況	NCGMの健診が含まれることについて、特に違和感なく理解できた。
84	Ⅲ	問5	健診等の受診状況	NCGMの健診が含まれることについて、特に違和感なく理解できた。
85	Ⅲ	問5(2)	健診等を受ける上で困っていること	障害により様々だと思うので、問4と異なり自由記述欄が良い。
86	Ⅲ	問5(2)	健診等を受ける上で困っていること	障害により様々だと思うので、問4と異なり自由記述欄が良い。
87	Ⅲ	問5(2)	健診等を受ける上で困っていること	障害により様々だと思うので、問4と異なり自由記述欄が良い。
88	Ⅲ	問5(2)	健診等を受ける上で困っていること	自分は特にない。人によって異なるので、自由記述欄でよい。
89	Ⅲ	問5(2)	健診等を受ける上で困っていること	問4と重複する印象がある。整理したほうが良い。
90	Ⅲ	問5,問6	健診等の受診状況、病気等で支払った費用の計	おおむねこの1年間、最近3か月と、期間の開きが大きい。もう少し整合を取るとともに、幅を持たせてはどうか。
91	Ⅲ	問6	病気やけが、予防で払った費用	3ヶ月分ではなく、1か月分のほうが記入しやすい。
92	Ⅲ	問6	病気やけが、予防で払った費用	複数の機関にかかっている場合は総額を書くという注記があったほうが良い。
93	Ⅲ	問6	病気やけが、予防で払った費用	単位は「円」にしたほうが良い。私は1か月500円しか払っていない。(自治体によっては無料のところもある)
94	Ⅲ	問6	病気やけが、予防で払った費用	単位は、「千円」で十分である。それより安いことはない。
95	Ⅲ	問6	病気やけが、予防で払った費用	私は家計簿をつけているので、3ヶ月分さかのぼれるが、1か月程度にしなくて書けない人もいるのではないかと。ただし、1か月では症状が安定しておらず、平均的な費用負担の実態が把握できない可能性がある。6ヶ月は長すぎる印象。
96	Ⅲ	問6	病気やけが、予防で払った費用	病気等がある月とない月があるので、バランスをとったほうが良い。1年は長いかもしれないが、私は医療費控除のために領収書など書類を残しているため、6ヶ月でも回答可能。
97	Ⅲ	問6	病気やけが、予防で払った費用	通院等に費用はかからないので、特に記入負担はない。
98	Ⅲ	問6	病気やけが、予防で払った費用	自治体の助成制度を使っており、費用はかからないので、特に記入負担はない。

99	Ⅲ	問6	病気やけが、予防で払った費用	設問の「障害福祉サービス、介護保険サービスの利用者負担は含まれません」の注記は文章の途中にあると、これらも含まれるような印象を受けるので、文末に入れたほうがよい。
100	Ⅲ	問6	病気やけが、予防で払った費用	通院等に費用はかからないので、特に記入負担はないが、支払っている人にとっては、3ヶ月分さかのぼるのは記入負担があるかもしれない。
101	Ⅳ	問1	障害者手帳	等級の選択肢は、アイウではなく、番号のほうが書きやすい。(副問について他も同様)
102	Ⅳ	問1	障害者手帳	重複障害で、障害種別ごとに等級が異なるケースがある。種別ごとに記入できたほうが良いのではないかと。ここは大切なので細かく聞いたほうが良い。
103	Ⅳ	問1(1)	障害者手帳を取得していない理由	「4手帳を持ちたくない」という人はいないと思うので、選択肢を削除してはどうか。
104	Ⅳ	問1(1)	障害者手帳を取得していない理由	「申請したが、取得できなかった」という選択肢を追加してはどうか。
105	Ⅳ	問2(1)	障害程度区分の認定の有無	手帳の等級と混同されやすいので、設問について見直す必要がある。
106	Ⅳ	問2(1)	障害程度区分認定の有無	役所があてて教えない場合もあるようで障害程度区分自体を知らないケースも想定される。認知度、知らない場合の理由を聞いたほうがよい。
107	Ⅳ	問2(1)	障害程度区分認定の有無	障害程度区分自体を知らないで、説明を入れてほしい。
108	Ⅳ	問2(2)	利用している障害福祉サービス	手帳による交通費の割引、医療費助成はどこに書けばよいか、分かりにくい。
109	Ⅳ	問2(2)	利用している障害福祉サービス	移動支援は利用している人が多い可能性がある。項目として追加したほうが良いのではないかと。
110	Ⅳ	問2(3)	障害福祉サービスを利用する上で困っていること	選択肢になっていないほうが答えやすいかもしれないが、私は利用していないので、今後のヒアリングで把握してほしい。
111	Ⅳ	問2(3)	障害福祉サービスを利用する上で困っていること	酸素携帯でないと外出ができない。仕事につきたくて、就労支援事業所に相談しても、医療的ケアが必要なため、利用を断られる。
112	Ⅳ	問2(4)	障害福祉サービスを利用していない理由	「2基準に合致しない」とは、「使いたいが使えない」ということだと思うので、具体的に追加しておいたほうが良い。
113	Ⅳ	問3	介護保険サービスの利用の有無	年齢的に使えないのではないかと。
114	Ⅳ	問3	介護保険法によるサービス利用	2号被保険者のサービス利用は例外的なので、注記を入れたほうが良いのではないかと。
115	Ⅳ	問3	介護保険サービスの利用の有無	年齢的に使えないのではないかと。制度の説明が必要。
116	Ⅳ	問3	介護保険サービスの利用の有無	年齢的に使えないのではないかと。制度の説明を入れてほしい。
117	Ⅳ	問3(4)	介護保険を利用していない理由	「2基準に合致しない」とは、「使いたいが使えない」ということだと思うので、具体的に追加しておいたほうが良い。
118	Ⅳ		福祉・介護サービスの利用状況について	設問は具体的であり、特に違和感はない。利用している人には分かる項目設定だと思う。ただ、いしづえでもこの領域の調査がよくあるが、何に使われるのか、フィードバックがあるのかよく分からない。
119	Ⅳ		福祉・介護サービスの利用状況について	特に迷う項目はない。自由記述になっている項目については、人によって異なる項目だと思うので、現行案(選択肢ではない形式)でよい。
120	Ⅳ		福祉・介護サービスの利用状況について	特に迷う項目はない。自由記述になっている項目については、人によって異なる項目だと思うので、現行案(選択肢ではない形式)でよい。
121	Ⅴ	問1	公的年金・恩給恩給の受給状況	障害基礎年金の受給有無だけのほうが答えやすい。
122	Ⅴ	問1	公的年金・恩給恩給の受給状況	「6公的年金・恩給は受給していない」は「受給していない」とシンプルにしたほうが答えやすい。
123	Ⅴ	問1	公的年金・恩給恩給の受給状況	受給している人は分かるので問題ないかもしれないが、「特別障害給付金」は何か分からなかった。
124	Ⅴ	問1	公的年金・恩給恩給の受給状況	「障害年金」について、選択肢1,2の違いが分かりにくい。
125	Ⅴ	問2	障害に起因する手当の受給状況	制度的な用語は分かりにくく、答えにくい。
126	Ⅴ	問2	障害に起因する手当の受給状況	「4障害に起因する手当は受給していない」は「受給していない」とシンプルにしたほうが答えやすい。
127	Ⅴ	問2	障害に起因する手当の受給状況	受給している人は分かるので問題ないかもしれないが、「特別障害者手当」は何か分からなかった。
128	Ⅴ	問2	障害に起因する手当の受給状況	「2福祉手当(経過措置分)」はサリドマイド被害者には該当しないのではないかと。使えるのかと誤解する人が出てこないか？
129	Ⅴ	問3	サリドマイド被害の和解金	すべての人がもっているわけではないので、微妙なせつもん。設問を入れるかどうか検討したほうが良い。
130	Ⅴ	問3	サリドマイド被害の和解金	「2長期継続年金の支給」の()内の注記はなくても分かる。削除したほうが良いのでは。
131	Ⅴ	問4	生活保護の受給状況	設問として必要か。若干抵抗感がある。
132	Ⅴ	問4	生活保護の受給状況	特に抵抗感はない。
133	Ⅴ	問4	生活保護の受給状況	特に抵抗感はない。
134	Ⅴ	問4	生活保護の受給状況	特に抵抗感はない。
135	Ⅴ		その他の公的支援等の状況について	サリドマイド被害者が「年金」と聞くと、問3和解金をまぎれイメージすると思うので、問3を先頭において、その他の公的年金等はあとで聞くほうが流れとしてスムーズではないかと。
136	Ⅴ		その他の公的支援等の状況について	サリドマイド被害者が「年金」と聞くと、問3和解金をまぎれイメージすると思う。サリドマイド和解金以外であることを明記する。或いは問3を先頭において、その他の公的年金等はあとで聞くほうが流れとしてスムーズではないかと。
137	Ⅴ		その他の公的支援等の状況について	住宅改修の助成等について把握したほうが良いのではないかと。
138	Ⅴ		その他の公的支援等の状況について	特に迷わず記入できる。
139	Ⅵ	問1	仕事の状況	選択肢が煩雑なので、「仕事をしている」「していない」にまとめてはどうか。「通学のみ」はしていないのでは。
140	Ⅵ	問1(2)	仕事の内容(職業分類)	ほとんどは、事務従事者かサービス職業従事者ではないかと。ここまで細かく把握する必要があるか。
141	Ⅵ	問1(2)	仕事の内容(職業分類)	公務員はどこに丸をつけたらよいか分からない。個別の項目について、もう少し説明が必要である。
142	Ⅵ	問1(2)	仕事の内容(職業分類)	少し表現が固いので、具体例等を入れたほうが良いのではないかと。
143	Ⅵ	問1(2)	仕事の内容(職業分類)	特に迷わず記入できる。
144	Ⅵ	問1(3)	勤めか自営かの別	「5・・・雇用期間の定めのない者」の意味が分かりにくい。
145	Ⅵ	問1(3)	勤めか自営かの別	「5一般従業者」の意味が分かりにくい。
146	Ⅵ	問1(3)②	勤務先で配慮を受けている事項	配慮してほしいとしても会社に言えないケースもある。実際に「配慮を受けている」事項だけでなく、「配慮してもらいたい事項」についても聞いてはどうか。
147	Ⅵ	問1(3)②	勤務先で配慮を受けている事項	サリドマイド被害者として、障害者雇用という面で会社から受けている配慮か、一般的な差別・偏見の克服という視点での配慮かが分かりにくい。
148	Ⅵ		仕事の状況について	身体を使う仕事が障害の進行に影響を与えている場合があるので、身体を使う仕事が把握してはどうか。
149	Ⅵ		仕事の状況	仕事をしていないことを気にしている人もいる。答えたくない人は回答拒否できる選択肢を設けたほうが良いのではないかと。
150	Ⅵ		仕事の状況	特に迷わず記入できる。
151	Ⅵ		仕事の状況	特に迷わず記入できる。

152	VI		仕事の状況	特に迷わず記入できる。
153	VII	問1	悩みやストレスの有無	代筆の場合を想定して「わからない」という選択肢が必要では。
154	VII	問1(1)	悩みやストレスの内容	「3自分の生活(結婚)」は別建てにしておくか。
155	VII	問1(1)	悩みやストレスの内容	「7老後の生活設計」は先ずぎる。1. 2年先の「将来のこと」という項目を追加してはどうか。
156	VII	問1(1)	日常生活での悩みやストレス	その他があれば、自由に記入できるのではないかと心配である。(難病にかかった原因がサリドマイド被害ではないか、子ども・孫に遺伝しないか)
157	VII	問1(1)	悩みやストレスの内容	設問として、悩み、ストレスというより、「生活面で困っていること」のほうが良いのではないかと。
158	VII	問1(2)	悩みやストレスの相談方法	6公的な機関の相談については、地域によって機関・窓口の呼称が異なるので、表現を工夫する必要がある。
159	VII	問2	自由記述	「家族の健康、生活上の問題」については、記入欄をもう少し大きくしたほうが良い。特に親の介護については様々な意見がある。
160	VII	問2	自由記述	「その他」については、記入欄がもう少し小さくても良い。
161	VII	問2	自由記述	テーマごとに記入欄が分かれているが、自分の健康が一番メインの困りごとで、それに関連してその他の生活上の問題が出てくるので、個別に切り分けて記入するのが難しい。記入欄は一つにまとめてはどうか。
162	VII	問2	自由記述	テーマごとに記入欄が分かれていたほうが、もれなく記入できるので良い。
163	VII	問2	自由記述	住宅改修ができないことで大変困っている。これはどこに記入すればよいか分からない。ハード面等の課題が書けるようにひとつ項目を立ててもらいたい。
164	VII		日常生活での悩みやストレス	特に迷わず記入できる。
165	VII		日常生活での悩みやストレス	特に迷わず記入できる。
166	全般			施設入所者には答えにくい項目がある。
167	全般			医療・福祉のことまで聞かれるとすると、このボリュームはやむなし。ただし、このボリュームが回答できる限度である。
168	全般			記入期間は2週間あれば回答できる。
169	全般			文字フォントはこの大きさが問題ない(これ以上小さいと読みにくい)。
170	全般			いしずえニュース等で、調査実施前に案内があると回答率が高まるのではないかと。(封筒の色、送付時期等)
171	全般			記入期間は2週間あれば回答できる。
172	全般			文字フォントはこの大きさが問題ない(これ以上小さいと読みにくい)。
173	全般			代筆のケースで、本人の立場で書くのか、代筆者の立場で書くのか分かりにくい項目がある。
174	全般			医療・福祉のことまで聞かれるとすると、このボリュームはやむなしだが、初見では量が多い印象。
175	全般			記入期間は3週間程度が良い。2週間だと仕事をしながら回答するのは難しい。1か月だと間延びして忘れてしまうかもしれない。
176	全般			文字フォントはこの大きさが問題ない。
177	全般			文字が多いので、イラストを入れたり、カラーにしたり、少し答えやすく見えるような工夫をしてはどうか。
178	全般			文字フォントはこの大きさが問題ない。
179	全般			調査票はカラーだと分かりやすい。
180	全般			記入期間は2週間あれば回答できる。いしずえの調査は、月初に配布、月末締切のことが多いので、参考にしてもらってはどうか。
181	全般			いしずえニュース等で、調査実施前に案内があると回答率が高まるのではないかと。
182	全般			過去のいしずえの調査も郵送配布・回収であった。調査内容の問い合わせのやりとりでは電子メールを利用することもあった。
183	全般			文字フォントはこの大きさが問題ない。
184	全般			記入期間は1週間あれば回答できる。
185	全般			いしずえニュース等で、調査実施前に案内があると回答率が高まるのではないかと。
186	全般			調査方法は電子媒体ではなく、紙の郵送配布・郵送回収のほうが答えやすい。
187	全般			期間を区切って記入させる設問について、その期間設定はそろえたほうが良い。設問によって期間が異なると混乱する。
188	全般			文字フォントはこの大きさが問題ない。
189	全般			記入期間は2週間あれば回答できる。
190	全般			いしずえニュース等で、調査実施前に案内があると回答率が高まるのではないかと。その場合、読み飛ばしが無いよう、1面に記載してもらいたい。
191	全般			図書カード等の謝礼があると回答率が高まるのではないかと。
192	全般			調査方法は電子媒体ではなく、紙の郵送配布・郵送回収のほうが答えやすい。
193	全般			指先が痛く、字を書くのが負担になるケースもあるので、できるだけ選択肢で○すれば済むようにしてほしい。また大きい字でないと書きにくいので自由記述欄は大きく取ってほしい。
194	全般			自由記述欄は字が曲がるので罫線が引いてあると書きやすい。
195	全般			電子媒体で入力するほうが回答しやすい人もいるかもしれない。
196	全般			2~3週間あれば回答可能である。
197	全般			文字フォントはこの大きさが問題ない。
198	全般			自由記述の記入欄の大きさも現行で問題ない。
199	全般			記入期間は1か月がよいのではないかと。(記入は1日で済むが、仕事で不在等のケースもある。いしずえの調査も通常1か月程度で締切)
200	全般			記入したくないところは空欄でよい旨、冒頭に注意書きを入れた上で、研究班として把握したい項目は盛り込んでよいのではないかと。

サリドマイド被害者生活実態調査

◆◆◆ 調査の目的 ◆◆◆

現在、国立国際医療研究センターでは、厚生労働科学研究補助金を受け、サリドマイド被害者の方々の健康状態と生活実態を把握し、今後の支援方策を検討することを目的とした研究を進めています。この一環として、サリドマイド被害者の皆様が、現在、生活上どのようなことに困っておられるかをお聞きするアンケート調査を実施することになりました。

この調査票は、財団法人「いしずえ」を通じてサリドマイド被害者の方全員に送らせていただいています。

ご回答いただいた内容は全て統計的に処理し、個々の回答が公表されることはありません。また、この回答を本調査の目的以外に使用することはありません。

つきましてはお忙しいところ恐縮でございますが、本調査趣旨をご理解いただきご協力賜りますようお願い申し上げます。

◆◆◆ 記入上の注意 ◆◆◆

- 黒のペン又はボールペンでご記入ください。
- 番号を選ぶところでは当てはまる番号に○をつけてください。特に指定のない場合、○は1つだけつけてください。
- 記述式のところでは、楷書で明確にご記入ください。
- 特に指定のない限り、平成24年★月1日現在の状況をご記入ください。
- お忙しいところ誠に恐縮ですが、記入済みの調査票は同封の返信用封筒（切手不要）にて、平成24年★月★日（金）までにご投函ください。

【調査実施主体・調査票の返送先】

独立行政法人 国立国際医療研究センター 救急・総合診療部 総合診療科 吉澤篤人
（平成24年度厚生労働科学研究「全国のサリドマイド胎芽病患者の健康、生活実態に関する研究」主任研究者）
〒162-8655 新宿区戸山1-21-1

【記入に関する問合せ先】 ※国立国際医療研究センター病院から調査の実施、入力、集計業務を委託しております。

（株）三菱総合研究所 人間・生活研究本部「サリドマイド被害者生活実態調査」事務局
（担当：根津、後藤、高森）

TEL：03-6705-6025（平日9時30分～17時00分。12時～13時を除く）

FAX：03-3157-2143

(2)日常生活上、不便なこと、困っていることについて、できるだけ具体的に記入してください。

--

(3)おおむねこの5年の間に、上記のような日常生活上の影響の度合いは変化していますか。

1. 変化していない	3. 影響が小さくなっている(良くなっている)
2. 影響が大きくなっている(悪くなっている)	4. 良くなったり悪くなったりしている

(4)上記のような日常生活上の影響の原因は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

1. サリドマイド被害によるもの	3. その他 ()
2. 年齢的な加齢に伴うもの	4. 分からない

問3 過去1ヶ月の間に、健康上の問題で床についたり普段の活動ができなかった(仕事・学校を休んだ、家事ができなかった等)日はありましたか。

1. ある →合計 () 日	2. ない
-----------------	-------

Ⅲ. あなたの医療・保健サービスの利用状況についてうかがいます

問1 あなたはここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか。

1. ある 2. ない ← P5 問2へ

↓
【「1ある」と答えた方にうかがいます。】

(1)それは、どのような症状ですか（○はいくつでも）。

- | | | |
|-----------------|--------------------|-------------------|
| 1. 熱がある | 17. ゼイゼイする | 33. 手足のしびれ |
| 2. 体がだるい | 18. 胃のもたれ・むねやけ | 34. 手足が冷える |
| 3. 眠れない | 19. 下痢 | 35. 足のむくみやだるさ |
| 4. いらいらしやすい | 20. 便秘 | 36. 尿が出にくい・排尿時痛い |
| 5. もの忘れする | 21. 食欲不振 | 37. 頻尿（尿の出る回数が多い） |
| 6. 頭痛 | 22. 腹痛・胃痛 | 38. 尿失禁（尿がもれる） |
| 7. めまい | 23. 痔による痛み・出血等 | 39. 月経不順・月経痛 |
| 8. 目のかすみ | 24. 歯が痛い | 40. 骨折・ねんざ・脱きゅう |
| 9. 物を見づらい | 25. 歯ぐきのはれ・出血 | 41. 切り傷・やけど等のけが |
| 10. 耳なりがする | 26. かみにくい | 42. その他 |
| 11. きこえにくい | 27. 発疹（じんま疹・できもの等） | →具体的に（握力、体温調節等） |
| 12. 動悸 | 28. かゆみ（湿疹・水虫等） | [] |
| 13. 息切れ | 29. 肩こり | |
| 14. 前胸部に痛みがある | 30. 腰痛 | |
| 15. せきやたんが出る | 31. 手足の関節が痛む | |
| 16. 鼻がつまる・鼻汁が出る | 32. 手足の動きが悪い | |

(2)上記の中で最も気になる症状の番号を3つまで選んで記入してください。

--	--	--

(3)上記の中であなたがサリドマイド被害との関係を心配している症状の番号を記入してください。（番号はいくつでも）

--

(4)最も気になる症状に対して、なんらかの治療をしていますか（○はいくつでも）。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 病院・診療所に通っている（往診、訪問診療を含む） |
| 2. あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）に通っている |
| 3. 売薬をのんだり、つけたりしている |
| 4. それ以外の治療をしている |
| 5. 治療していない |

問2 あなたは現在、傷病（病気やけが）で病院や診療所（医院、歯科医院）、あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）に通っていますか。（往診、訪問診療を含む。）

1. 病院・診療所に通っている（往診、訪問診療を含む）
2. あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）に通っている→（ ）ヶ所
※おおむねこの1年定期的に通っている箇所数
3. 通っていない⇨P7 問3 へ

→【「1、2通っている」と答えた方にかがいます。】

(1)どのような傷病（病気やけが）で通っていますか（〇はいくつでも）。

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 糖尿病 | 25. 痛風 |
| 2. 肥満症 | 26. 関節リウマチ |
| 3. 高脂血症（高コレステロール血症等） | 27. 関節症（関節の痛み） |
| 4. 甲状腺の病気 | 28. 肩こり症 |
| 5. うつ病やその他のこころの病気 | 29. 腰痛症 |
| 6. 認知症 | 30. 骨粗しょう症 |
| 7. パーキンソン病 | 31. 腎臓の病気 |
| 8. その他の神経の病気（しびれ、神経痛、麻痺等） | 32. 前立腺肥大症 |
| 9. 眼の病気・障害（視力低下、視野障害、眼球の運動障害等） | 33. 閉経期又は閉経後障害（更年期障害） |
| 10. 耳の病気・障害（耳鳴り、めまい、難聴等） | 34. 骨折 |
| 11. 高血圧症 | 35. 骨折以外のけが・やけど |
| 12. 脳卒中（脳出血、脳梗塞等） | 36. 貧血・血液の病気 |
| 13. 狭心症・心筋梗塞 | 37. 悪性新生物（がん） |
| 14. その他の循環器系の病気（心臓、血管等） | 38. 妊娠・産褥（切迫流産、前置胎盤等） |
| 15. 急性鼻咽頭炎（かぜ） | 39. 不妊症 |
| 16. アレルギー性鼻炎 | 40. その他 |
| 17. 喘息 | →具体的に（握力、体温調節等） |
| 18. その他の呼吸器系の病気 | |
| 19. 胃・十二指腸の病気 | |
| 20. 肝臓・胆のうの病気 | |
| 21. その他の消化器系の病気 | |
| 22. 歯の病気 | |
| 23. アトピー性皮膚炎 | |
| 24. その他の皮膚の病気 | |
| | 41. 不明 |

(2)上記の中で最も気になる傷病名の番号を3つまで選んで記入してください。

--	--	--

(3)上記の中でサリドマイド被害との関係を心配している傷病名の番号を記入してください。（番号はいくつでも）

--

(4)あなたが、定期的に通院している病院や診療所（医院、歯科医院）についてうかがいます。

※健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）による通院は除いてください。

①定期的に通院している病院や診療所の箇所数を記入してください。

ヶ所 ※おおむねこの1年定期的に通院

②定期的に通院している病院や診療所すべてについて、診療科、通院頻度、通院方法、通院にかかる時間（片道）、通院にかかる交通費（片道）、その病院・診療所にかかったきっかけを記入してください。

診療科	通院頻度						通院方法 ※複数方法を使う場合、すべてに○							通院にかかる時間（片道）					通院にかかる交通費（片道） ※付添者が必要な場合、その方の分も含む								その医療機関にかかったきっかけ		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3
	1週間に1回以上	2週間に1回以上	1か月に1回以上	3か月に1回以上	6か月に1回以上	それ以下	徒歩	自転車	自家用車	電車	バス	タクシー	その他	30分以内	1時間以内	2時間以内	3時間以内	3時間超	無料	500円以下	1千円以下	2千円以下	3千円以下	5千円以下	1万円以下	1万円超	対応できるか否かは気にしていない	対応できるかどうかは気にしていない	対応できるかどうかは気にしていない
例	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3
1	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3
2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3
3	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3
4	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3
5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3

↑ 下から数字を選んで記入

1 内科	5 呼吸器内科	9 リウマチ科	13 形成外科	17 心臓血管外科	21 産婦人科	25 リハビリテーション科
2 心療内科	6 消化器内科（胃腸内科）	10 小児科	14 美容外科	18 小児外科	22 眼科	26 放射線科
3 精神科	7 循環器内科	11 外科	15 脳神経外科	19 皮膚科	23 耳鼻いんこう科	27 歯科・歯科口腔外科
4 神経内科	8 アレルギー科	12 整形外科	16 呼吸器外科	20 泌尿器科	24 気管食道内科	28 その他

問3 おおむねこの1年の間の医療機関への受診状況について記入してください(○はいくつでも)。

※健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)による受診は除いてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 入院 →おおよそ()日/年 | 4. 医療機関は受診していない |
| 2. 通院 →おおよそ()日/年 | 5. その他 |
| 3. 往診 →おおよそ()日/年 | |

問4 あなたが現在、病院や診療所を受診する上で困ったり、できなかつたりすることがあれば、記入してください。(○はいくつでも)

※健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)による受診は除いてください。

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1. 採血 | 10. 超音波診断 |
| 2. 採尿 | 11. 放射線診断(レントゲン、CT、MRI等) |
| 3. 注射 | 12. ギプスなど装具 |
| 4. 服薬(錠剤) | 13. 診察室への呼び込み、検査・診察時のコミュニケーション |
| 5. 服薬(液剤) | 14. その他 |
| 6. 血圧測定 | } |
| 7. 脳波、心電図測定などの検査 | |
| 8. 上部消化管内視鏡(胃カメラ等) | |
| 9. 下部消化管内視鏡(大腸鏡等) | |

問5 あなたはおおむねこの1年の間に、健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)を受けたことがありますか。

※がんのみの検診、妊産婦検診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は健診等には含まれません。

- | | |
|-------|-----------------|
| 1. ある | 2. ない → P8 問6 へ |
|-------|-----------------|

↓
【「1ある」と答えた方にうかがいます。】

(1)どのような機会に健診等を受けましたか(○はいくつでも)。

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 市区町村が実施した健診 | 4. 国立国際医療研究センターの人間ドック |
| 2. 勤め先、又は健康保険組合等が実施した健診 | 5. 人間ドック(1~4以外で行うもの) |
| 3. 学校が実施した健診 | 6. その他 |

(2) P7 問4 で記載いただいた以外に、健診等を受ける上で困ったり、できなかつたりすることがあれば、できるだけ具体的にお書きください。

--

問6 あなたの最近3か月分の病気やけが、予防で自己負担した費用（障害福祉サービス、介護保険サービスの利用者負担は含まれません）はありましたか（〇はいくつでも）。また、自己負担して支払った費用がある場合、およその合計金額を教えてください。

1. 病気やけがで支払った費用がある
→病院、診療所、保険薬局等：3ヶ月合計で（ ）千円
→あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）、市販の薬や包帯等： 3ヶ月合計で（ ）千円
2. 病気の予防で支払った費用がある
→人間ドックや健診の受診、保健指導、予防接種等：3ヶ月合計で（ ）千円
→あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）、市販の薬等： 3ヶ月合計で（ ）千円
3. 自己負担した費用はない

問7 あなたがお住まいの市町村には医療費の補助制度がありますか。

1. 医療費の補助制度があり、自己負担はない（無料）
2. 医療費の補助制度があり、保険の自己負担分の一部が軽減される（一部負担）
3. 医療費の補助制度はない（保険の自己負担分を全額支払う）

問8 差し支えなければ、あなたがお住まいの市町村名を記入してください。

都道 府県	市区 町村
----------	----------

問9 差し支えなければ、あなたの平成23年のおおよその年間所得総額を記入してください。

1. 200万円未満	3. 400～600万円未満	5. 800～1,000万円未満
2. 200～400万円未満	4. 600～800万円未満	6. 1,000万円以上

※所得とは、働いて得た所得（雇用者所得、事業所得、農耕・畜産所得、家内労働所得等）、財産による所得（不動産賃貸、預貯金・公社債・株式などから得られた利子・配当金等）、公的年金・恩給による所得（障害年金、その他の公的年金・恩給等）、その他の社会保障給付金による所得（失業等給付、育児休業給付、介護休業給付、児童手当、生活保護法による扶助、医療保険による傷病手当金等）、仕送りによる所得、企業年金・個人年金による所得、その他の所得をさします。生命保険の受取金、退職金、不動産屋株の売却代金、宝くじの当選金などの一時的なものは含みません。

問10 あなたの家計を支えるために上記以外の（配偶者などによる）収入がありますか？

1. ある	2. ない ⇨ P8 問11 へ
-------	------------------

↓
【「1ある」と答えた方にうかがいます。】

(1) 差し支えなければ平成23年のおおよその年間所得総額を記入してください。

1. 200万円未満	3. 400～600万円未満	5. 800～1,000万円未満
2. 200～400万円未満	4. 600～800万円未満	6. 1,000万円以上

問11 あなたの世帯の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。

1. 大変苦しい	3. 普通	5. 大変ゆとりがある
2. やや苦しい	4. ややゆとりがある	